

1/25(日)

## 第11回九州地区漢字かるた大会

福岡市の福岡ソフトリサーチパークで、九州地区漢字かるた大会があり、福本保育園児 26 人と卒園児 9 人が参加しました。大会は、諺かるた・俳句かるた・小倉百人一首の3部門で予選と決勝があり、それぞれを勝ち抜いた園児たち 18 人が、優秀な成績を収めました。

参加した子どもたちは「トロフィーを貰うために、頑張りました！入賞して嬉しかった！」と元気いっぱい話してくれました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

**諺かるた** ▼3歳児 1位 梅田翔太、2位 田代佳誉  
3位 堤虎太郎、4位 陶山翔矢、5位 中山綾乃  
6位 谷本廉太郎▼4歳児 1位 松田麻衣  
▼5歳児 1位 梅田紗希、2位 茶園優斗  
4位 池田 澄、5位 田中末紗



九州地区漢字かるた大会で、上位入賞した福本保育園の園児たち

**俳句かるた** ▼3歳児 1位 堤虎太郎  
▼4歳児 2位 松田麻衣▼5歳児 1位 茶園優斗  
2位 梅田紗希、5位 池田 澄  
**百人一首** ▼5歳児 1位 梅田紗希、3位 松尾一芽  
4位 樺木浩人

1/27(火)・2/1(日)

## 文化財防火デーに伴う文化財防火訓練

1月27日(火)に北宮阿蘇神社(北宮)で、2月1日(日)に安国寺(泗水町豊水)で、管轄の消防署の指導のもと防火訓練が行われました。この訓練は昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺金堂が炎上し、貴重な壁画が焼損してしまったことを教訓として、この日を「文化財防火デー」に制定し、文化財の防火防災に努めるよう周知啓発が行われているものです。

参加した人たちは、防火意識の大切さを改めて確認し、また地域の宝を守るために地域でどのように連携するかを訓練するよい機会になりました。菊池市内には、国・県・市が指定する文化財が143件あり、北宮神社にはそのうちの2件が、安国寺には4件があります。

## ■仏像などの盗難にご注意を！

平成16年に県内の自治体で数例発生した仏像の盗難が、また近隣の県内で発生しています。彫刻品としての価値から違法に収集(盗難)されるケースが見られ、取り戻すために金銭を支払わなければならない事例もあっています。国・県・市の指定に関わらず、市民の皆さんの身近にある仏像や工芸品など、被害に遭わないよう、注意をお願いします。

北宮阿蘇神社に向かつて放水する消防署員(上)  
安国寺近くのグラウンドで防火訓練を行う参加者(下)



1/28(水) 平成20年度優良読書グループとして「しすいっ子童話会」が表彰！



しすいっ子童話会(前田和子代表)が、熊本県読書活動振興協議会より優良読書グループとして表彰されました。これは、同協会が読書活動を通じ会員の親睦を深め、読書環境の醸成に貢献のある個人・団体を選定するもので、県立図書館で表彰式がありました。

同会の長年にわたる泗水図書館での読み聞かせ活動や、手作り紙芝居を通じた地域の活動が認められたものです。会員の皆さんは「これからも読書の楽しみをつなげていきたいです」と喜びを話されました。今後の活躍が期待されます。

優良読書グループとして表彰された、しすいっ子童話会のメンバー

1/11(日) 第27回森旗争奪少年剣道大会



森旗争奪少年剣道大会が佐賀県神埼市であり、小学生の部(62チーム参加)で、菊池白龍館Aチームが優勝しました。また、同じ部で、泗水小A・B両チームが3位、白龍館Bチームも予選リーグを勝ち抜き、菊池の少年剣道のレベルの高さを示すことができました。

大会は年明けから10日ほどで、十分な稽古ができない中、選手たちはその不安をよそに、チームワークもよく普段どおりの力を発揮して勝ち進みました。

今回の菊池白龍館Aチームは、先鋒：松原圭志、次鋒：岩木実乃梨(以上、河原小)、中堅：森聡一郎、副将：柿内雅、大将：古田智也(以上、隈府小)の6年生5人でした。

優勝した菊池白龍館のメンバー

菊池白龍館は、平成15年に菊池市剣道連盟が創設した菊池市内の小学生と幼児(主に年長児)を対象とした剣道教室で、毎週土曜日午前10時から正午まで、菊池南中学校の武道場で稽古をしています。挨拶・返事・所作・礼法などの指導にも力を入れ、基本を大切に、楽しく、ときには厳しく剣道に取り組んでいます。新年度に向け、たくさんの少年剣士の入部を待っています。

1/19(月) 増永 洋さんが平成20年度全国技能連合マイスター認定を報告

増永 洋さん(㊦ 大琳寺)が、「かわらぶき」の職種として社団法人全国技能士会連合会の「全技連マイスター」に認定され、その報告に福村市長を訪れました。

全技連マイスターとは、ものづくりのプロである技能士の中で、若者や後継者に対し、持ち前の優れたものづくりのコツや技能を伝承する熱意のある人を、全技連会長が認定し公表しているものです。平成15年度からスタートし、これまでに衣・食・住の分野や、機械系など52職種にわたり770人の「全技連マイスター」が誕生しています。

増永さんは現在、菊池市内で増永瓦工業所を経営しながら、熊本県瓦工業組合の理事としても活躍中で、熊本市建設技術専門学院でも、かわらぶきの技術講師として後継者育成にも尽力されています。「マイスターの知名度がまだ低いのもっとPRしていきたいです。また、後継者育成にも努めていき、もう1ランク上の最高峰「匠」の称号が取れるよう頑張りたいです」と話す増永さん。今後の活躍が期待されます。

また、1級技能士として活躍中の後藤英之さん(㊦ 立門)が、「建築大工」の職種として社団法人熊本県技能士会連合会長表彰「優秀技能士」を受賞されました。後藤さんの今後の活躍が期待されます。



全技連マイスター認定の報告を訪れた増永さん(右)

1/24(土)

## 「東京泗水会」総会・ふるさとのつどい

東京泗水会の総会とふるさとのつどいが、東京都の九段会館で開催され、泗水町にゆかりのある東京近郊の在住者60人が参加しました。総会では、年度の事業と決算の承認があり、来年度の計画と予算について審議がされました。

引き続き、ふるさとのつどいが行われ、会員相互の親睦と交流が図られ、会場は和気あいあいとした雰囲気になりました。参加者からは「泗水町で生産されている特産物の販売をしてほしい」という意見もありました。



東京都であった東京泗水会に参加した皆さん